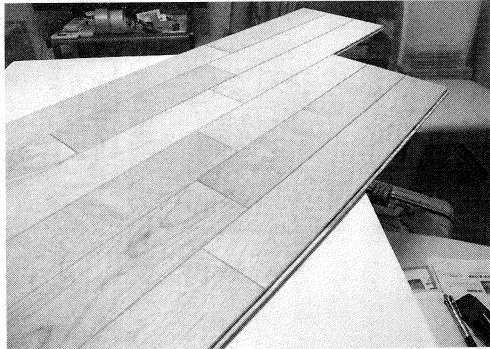


国内メーカーと共同で

1×6判の厚単板フロア開発

ウッズマイスター



豊かな木肌と施工性の高さを訴える

ウッズマイスター(東京都、二木浩一郎社長)は12¹/₂厚1×6判(303×1818¹/₂ミ)の厚単板仕様の複合フロアを開発した。表面樹種はオーク、ハードメープル、ブラックウォールナット、ブラックチェリー、ミャンマーチーク。国内の複合JAS認定工場との提携によるもので、本格販売は9月を予定している。

開発したフロアは短¹/₂置して、天然木が持つ手方向に3ピースを配¹/₂木肌の豊かさを生かした。寸法安定性も高く、1×6判ならではの施工性にも優れる製品として仕上げた。表面にはスライス加工を施した天然木厚単板を用いて、短手方向のピ

ース別に面取り、面取り、面取りとする。提携工場の技術によりピースごとの継ぎ目に溝を施すことでムクと同等の張り上がりを目指した。近年のトレンドを意識してつやを抑えた「マット」塗装を用いる。

同社はムク床材を主体とする輸入販売業者で、約40の樹種を基にサイズや塗装別におよそ350アイテムを品ぞろえしている。床暖

房対応品の充実に定評があり、常時2万平方坪の在庫を抱え、即納をモットーとしている。

市場ニーズの高まりを受けて、ムクフローリングの輸入販売を主体とする事業者としては珍しい1×6判複合フロアに進出した。「先発の同種フロアを意識して値頃感も追求する」(二木社長)。今後は在庫対応を図り対応樹種の拡充も視野に、以前から要望のあったマンション案件をはじめ、同社主力の木建ルート向けまで幅広い販路を意識する。